

令和7年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

心 理 学 専 攻
外 国 語 科 目 試 験 問 題

英語【臨床心理学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和6年9月14日実施

問1. 以下の用語を和訳しなさい。(各5点)

- (1) independent variable
- (2) dependent variable
- (3) mediator
- (4) moderator

【解答例】

- (1) 独立変数
- (2) 従属変数
- (3) 媒介要因
- (4) 調整要因

【出題意図】

心理学に関する専門用語を適切な日本語に訳すことができるか。

問2. 以下の英文を読み、続く設問に答えなさい。(本文は著作権の関係により掲載不可)



(出典：Baumeister, R.F., & Leary, M.R. (1995). The need to belong: Desire for interpersonal attachments as a fundamental human motivation. *Psychological Bulletin*, 117, 497-529.)

問2-1. 下線部を和訳しなさい。(10点)

問2-2. belongingness hypothesisとはどのようなものか述べなさい。(10点)

問2-3. need to belongを満たす二つの基準がどのようなものか述べなさい。(10点)

【解答例】

問2-1. 所属感の欠如は深刻な欠乏状態をもたらし、様々な悪影響を引き起こすだろう。さらに、多くの人間の行動、感情、思考は、この基本的な対人間動機によって引き起こされている。

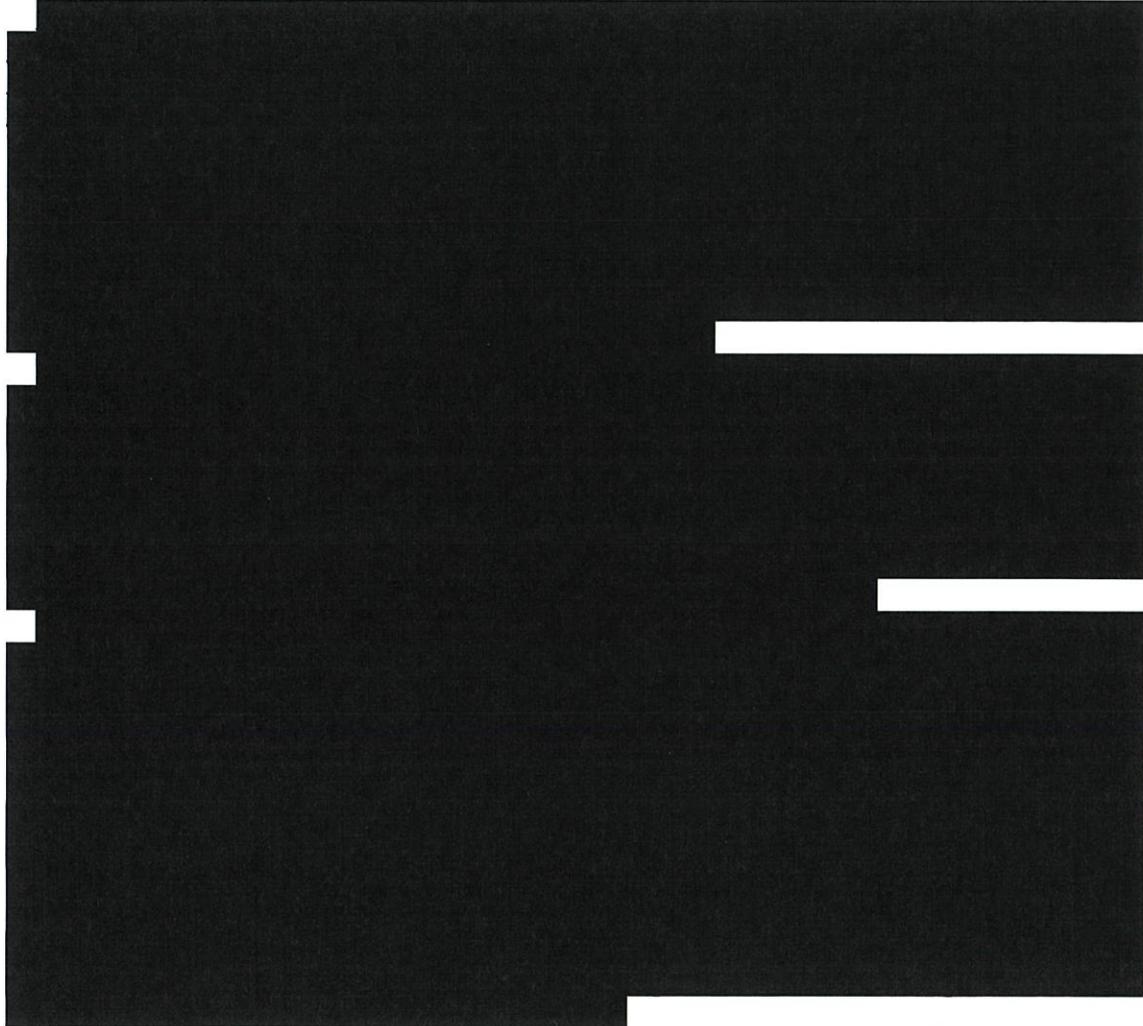
問2-2. 所属仮説とは、人間は一定の持続的、かつポジティブな対人関係を形成し、維持しようとする普遍的な欲求を持つというものである。

問2-3. 第一に、限られた少数の他者と頻繁かつ情動的に心地よい相互作用を必要とする。第二に、そうした相互作用は、時間的に安定し、互いのウェルビーイングを情動的に配慮する関係の下でなされなければならない。

【出題意図】

社会心理学に関する学術論文(英語)を正しく読み、論文の内容を適切に把握できるか。

問3. 以下の英文を読み、続く設問に答えなさい。（本文は著作権の関係により掲載不可）



（出典：Benning, S.D., Patrick, C.J., Hicks, B.M., Blonigen, D.M., & Krueger, R.F. (2003). Factor structure of the psychopathic personality inventory: Validity and implications for clinical assessment. *Psychological Assessment, 15*, 340-350 .)

問3-1. 下線部を和訳しなさい。ただし、「McCord and McCord (1964)」および「Cleckley (1976)」については、英語表記で記載すること。（10点）

問3-2. Psychopathyは2次元に分類されるが、各次元の名称および構成要素を述べなさい。（20点）

問3-3. Hare (1991) が作成したPsychopathy Checklist-Revised (PCL-R) に伴う問題点を述べなさい。（20点）

【解答例】

問3-1. サイコパシーは、情動のおよび対人的な乖離を伴った文脈において衝動的に行動で示すことを特徴とするパーソナリティ障害である。McCord and McCord (1964) はこの症候群の中核に罪悪感の欠如と愛情の欠如があると特定し、Cleckley (1976) はサイコパシーの外在化された行動はその根底にある社会的、情動的病理から生じていると理論づけた。

問3-2. ひとつは情動-対人間傾向であり、良心の呵責、共感または情動の深さの欠如、責任転嫁、魅力、誇大性、嘘、操作性を含む。もうひとつは常習的な社会的逸脱傾向であり、幼少期からの行動問題、非行、刺激追求、攻撃性、衝動性、寄生性、無責任、計画性の欠如を含む。

問3-3. Hare (1991) によるPsychopathy Checklist-Revised (PCL-R) は受刑者を対象として作成され、その内容は犯罪歴のように司法記録にアクセスできることを前提としている。しかし、一般集団にもサイコパス傾向を示す者（成功したサイコパス）が存在することを考慮すると、一般集団を対象としたサイコパス傾向を評価する尺度が必要となる。PCL-Rの問題点は犯罪歴を持つ対象に合わせたものであり、標準化された運用をするには長時間の構造化面接などが必要となり、一般集団では実施が困難な点にあると言える。したがって、一般集団を対象とするにはより効率的な自己報告式の尺度が求められる。

【出題意図】

犯罪心理学に関する学術論文（英語）を正しく読み、論文の内容を適切に把握できるか。